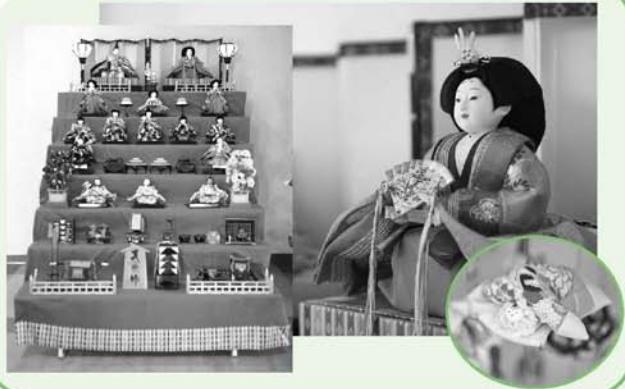


ひな祭り



3月3日は女の子の健やかな成長を祝うひな祭りです。
今年もボランティアの皆さんにご協力をいただき、1階正面玄関ホールに段飾りとつるし雛を飾りました。ぜひ御覧ください。

【理念】キリスト教精神に基づく「隣人愛」

【経営方針】この地域にしっかりと根ざし、住民に信頼される病院づくり

社会福祉法人 聖隸福祉事業団

医療保護施設・地域医療支援病院

総合病院 **聖隸三方原病院**

SEIREI MIKATAHARA GENERAL HOSPITAL



聖隸三方原病院は、公益財団法人日本医療機能評価機構の定める認定基準を達成しています。

おしらせ



就職説明会・看護体験研修のお知らせ

聖隸三方原病院に就職をお考えの看護学生の皆さまを対象に、看護師・助産師の就職説明会と看護体験研修を行います。

開催日：3月23日(水)、3月29日(火)、4月9日(土)、
4月23日(土)、5月28日(土)、6月4日(土)、
7月23日(土)

会場：聖隸三方原病院内(申し込みいただいた方には、別途会場のご案内をさせていただきます)

内容：就職説明会(開催日の午前 9:00～12:00)
看護体験研修(開催日の午後 13:00～15:30)

持ち物：筆記用具、靴(ナースシューズまたは白いスニーカー)、印鑑

服装：軽装、清潔感のある服装でお越しください。

その他：昼食はこちらでご用意いたします。

詳しくは病院ホームページをご覧ください。

<http://www.mikatahara-ns.com/>

お申込み・お問い合わせ

TEL、E-mailにて下記担当者宛てにご連絡ください。

聖隸三方原病院 総務課 看護師採用担当

TEL : 053-439-9050 (直通)

E-mail mkwebmaster@sis.seirei.or.jp

『みどりの通信』へのご意見・ご感想をお待ちしております。

皆様からお寄せいただいたご意見・ご感想を今後の話題作りの参考にさせていただきます。

e-mail : mkwebmaster@sis.seirei.or.jp FAX : 053-438-2971 みどりの通信編集部

季節の食材～3月～『人参』

平成27年度浜松市医療奨励賞

神経内科部長の荒井元美が、医療の普及および向上に貢献した市内の医療機関や医師らに贈られる「浜松市医療奨励賞」を受賞いたしました。

特発性低髄液圧症候群について発表してきたいくつかの論文や、20年間の診療に基づくデータを解析して得られた新しい知見が評価されました。



第43回

聖隸三方原病院
病院学会
写真コンクール

事務長賞

「光のカーテン」
松島 優喜 様



なんとも神々しい風景です。

がん患者さんのための おしゃべり会「じゃがいも」

同じ病気を抱えている患者さんといっしょにお話ししてみませんか？
おしゃべり会はみなさんが体験をわかちあい、支えあう会です。

日 時：3月17日（木）13:30～14:30

場 所：聖隸三方原病院 管理棟2階 第7会議室

対 象：がん患者さんとご家族

お問い合わせ：よろず相談地域支援室
がん相談支援センター

TEL：053-439-9047



人参は緑黄色野菜の中でもカロテン含有量はトップで、カロテンの名も英語のキャロットに由来されています。これから出荷される春人参のカロテンは免疫力を高めてカルシウムやビタミンCも多く含まれています。皮の下の部分が特に栄養価が高いので、しっかり洗って皮ごと食べる事をおすすめします。

簡単！旬のレシピ

当院で提供している
「炒り豆腐」

をご紹介します

4人分

- ・木綿豆腐 240g
- ・鶏ひき肉 80g
- ・人参 120g
- ・青ネギ 12g
- ・サラダ油 小さじ1
- ☆砂糖 小さじ1
- ☆濃口醤油 大さじ1
- ☆酒 小さじ2

（栄養価 1人分）	
エネルギー	106 kcal
たんぱく質	8.6 g
脂質	5.2 g
食塩	0.5 g
β-カロテン	2367 μg



作り方

- ① 木綿豆腐は軽く水切りをする。
- ② フライパンにサラダ油をひき、鶏ひき肉を炒める。
- ③ いちょう切りにした人参を入れ、火が通るまで炒める。
- ④ 木綿豆腐をくずしながら炒める。
- ⑤ ☆の調味料で味付けをし、最後にネギを入れて完成。

調理師 山口 真緒

<栄養課の野菜ソムリエより>

最近の人参は品種改良がすすんで野菜嫌いの子供でも食べやすくなり、現在では人気の高い野菜の仲間に入っています。

人参の根や葉の部分に多く含まれるカロテンは、脂溶性のビタミンなので炒め物など油を使った料理やサラダのドレッシングなど、油と一緒に摂取すると栄養の吸収力がアップします。

病理診断科ってなあに？

謎の診療科、「病理診断科」。皆さんはご存知ですか？

それは…医学生や看護師など医療関係者ですら実態を知る者の少ない、影の診療科です。当院にはこの珍しい病理診断科がありますので、今日はその中身について、少しだけご紹介したいと思います。

何をしているの？

私たち病理診断科では、ふだん病気の診断を行っています。というよりむしろ、病気の診断しか行っていません。えっ？ 診断だけとはずいぶん気楽な…と思われるかもしれません、科学的根拠が重要な現代医療では、正確な診断こそが、治療の要になっています。

ふつうは、患者さんの主治医が病気の診断をする際、医師は患者さんを診察し様々な検査データを参考にすることで、最新の医学知識と過去の経験や勘に基づいたプロとしての診断を下します。名医の診断はよく当たりますよね。

ところが一方、病理診断科で行われる診断方法は、それとは少し異なっています。

病理診断科の診断方法

病理診断科で診断を行う医師のことを「病理医」といいますが、病理医が患者さんを直接診察することはありません。そのかわり、患者さんから採取された身体の一部（病変部）を科学的に詳細に調べ上げることができます。具体的には、専任の検査技師達とチームを組んで病理標本を作製し、様々な染色を駆使したり組織化学的検索をしたりして、顕微鏡を用いて病気の本態を解明します。このように病理医の診断は科学的で客観的なので、「よく当たる」のではなく、必ず当たります。そして病理医の診断は患者さんの主治医へ伝えられ、治療に生かされます。

ちなみに、病理診断にはいくつか種類があり、それぞれ細胞診断、組織診断、病理解剖診断などとよばれています。そして診断対象は、喀痰、胸水、腹水、尿のほか、胃生検や大腸生検など、または手術で切り取られた様々な臓器の癌など多岐に渡り、およそ人体の全臓器を対象としています。

正確な医療を提供します

もし、病理診断科のない施設で非科学的な診断に基づいた誤った治療が行われるなら、治療効果が無いば

病理診断科 医長 高橋 青志郎

かりか、患者さんは多大な被害に遭われる事態になりかねません。

しかし安心してください。当院の病理診断科には複数の病理専門医が在籍し、互いの診断を常にチェックしています。しかも、主治医との連携は極めて円滑です。ですから、当院をご利用の患者さんは、担当の主治医を安心して信頼してくださればと思います。

病理医はふだん患者さんと直接お話しすることはできませんが、他科の医師たちと同じく患者さんのご健康と利益を第一に願い、努力しています。そして正確な診断を提供するため、今日も病院の縁の下で、病理診断科は陰ながら頑張っているのです。



あれ!?これって…
認知症?

認知症の人にはどう接したらいいの?

認知症相談会

認知症に関する相談を、認知症看護認定看護師・医療相談員がお受けします。ひとりで悩まず、ご相談ください。

日 時：3月 17 日（木） 14：00～17：00
※事前予約制、1時間以内／1件

場 所：聖隸三方原病院 よろず相談地域支援室

申し込み：聖隸三方原病院 医療相談室（よろず相談地域支援室内）

電 話：053-439-0006

受付時間：月～金 8：30～17：00

土 8：30～12：15

主催：聖隸三方原病院 浜松市認知症疾患医療センター

介護職募集について～就職・復職をお考えの方へ～

聖隸三方原病院では『おおぞら療育センター（重症心身障害児施設）』での生活支援員の募集をしています。

随時、施設見学・ご相談を承っておりますので、担当者までご連絡ください。

また、生活支援員として就職・復職を考えておられるお知り合いがいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。

お問い合わせ：総務課 担当：鈴木・冠者・大谷

TEL：053-439-9050（直通）

FAX：053-438-2971

E-mail：mkwebmaster@sis.seirei.or.jp

編集後記

皆さん復活祭（イースター）をご存知ですか？十字架にかけられた亡くなったキリストが三日目に復活したことを記念・記憶する、キリスト教において最も重要な祭です。復活祭は基本的に「春分の日の後の最初の満月の次の日曜日」に祝われるため、年によって日付が変わる移動祝日です。そして今年は3月27日がその日になります。日本でもイースターとしてクリスマスやバレンタイン、ハロウィンに続く第4のイベントとして注目を集めています。皆さんも今年はカラフルに彩ったイースターエッグを作つてみてはいかがですか。

発行責任者：総合病院 聖隸三方原病院 病院長 荻野 和功

〒433-8558 浜松市北区三方原町 3453

TEL 053-436-1251（代）/ FAX 053-438-2971

<http://www.seirei.or.jp/mikatahara/>